

第 1 回「代替フロン等排出削減先導技術実証支援事業」

研究資金制度プログラム終了時評価検討会 議事要旨

1. 日時

平成29年1月30日(月)10:30～12:00

2. 場所

経済産業省第5共用会議室

3. 出席委員

飛原座長、青柳委員、阿部委員、田村委員、松田委員

4. 議題

1. 評価検討会の公開について
2. 評価の方法等について
3. 技術に関する施策・事業の概要について
4. 今後の評価の進め方について(コメント依頼)

5. 議事

(1)座長選出

委員の互選によって、飛原委員が本検討会の座長に選出された。

(2)評価検討会の公開について

事務局から、資料2により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

(3)評価の方法等について

事務局から、資料3、4、7、8により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

(4)研究資金制度プログラムの概要について

事務局から、資料5、6により、代替フロン等排出削減先導技術実証支援事業の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

委員から、事業実証後明らかとなった課題について質問があり、事業評価としては個別採択課題毎に設定された課題の達成状況について提示している旨回答した。

委員から、事業の効果の記述に関して質問があり、事務局から、効果を統一的に評価することは難しく、事業終了後も一定期間フォローアップを行っている二酸化炭素排出量の削減度合いを算定可能な指標として示している旨回答した。

さらに、委員から本事業終了後の支援策について質問があり、現時点においては技術開発支援も含め、直接的な支援策がなくなっており、今後の対応について検討中である旨回答した。

委員から、本事業が以前からフロン代替のための先導的な取り組みを行ってきた意義は大きいですが、現時点でも全ての分野で代替可能な訳ではないことから、技術開発等の取組を地道に進めていくことが重要であるとの意見があった。

(5) 今後の評価の進め方について

事務局から、「資料8 評価コメント票（評点シート含む）」について説明があり、評価コメント票の提出期限を平成29年2月3日とすることを確認した。

(6) 閉会